

編集発行▶九州大学ビジネス・スクール 担当▶QBS支援室 住所▶〒819-0395 福岡市西区元岡744 電話▶092-802-5558
メールアドレス▶qbs@econ.kyushu-u.ac.jp f▶facebook.com/QBS.MBA

QBSオープンキャンパスを伊都にて開催



昨年に引き続き二度目となる伊都キャンパスでのQBSオープンキャンパスが、9月5日(土)イースト2号館E109教室にて行われました。

台風の影響が心配されましたが、Zoomでのオンライン参加も含め約60名の方にご参加いただきました。経済学府長の岩田健治教授によるご挨拶に始まり、専攻長の永田晃也教授によるQBS概要説明、高田仁教授による「大学発の事業創造とアントレプレナーシップ」の模擬講義がありました。後半では、東京よりZoomで登壇された修了生の杉本将隆さん(6期)、岩本涼太郎さん(16期)、在校生の東久保耕一さん(17期)、大島梢さん(18期)、そして、モデレーターの宮崎通樹さん(17期)による「修了生・在校生の声を聞く」を開催。QBSへの志望動機や印象に残った授業など、学生ならではのトークが続きました。最後の質疑応答のコーナーでは、会場そしてオンラインからも活発に質問をいただき、閉式後のキャンパスツアーにも積極的に参加されていました。

さる8月5日に開催された博多説明会、8月24日に開催された熊本説明会にご来場いただいた皆様にも深く感謝申し上げます。 QBS支援室



特別選抜入試説明会のご案内

日 時：令和2年12月1日19:00~21:00
会 場：JR博多シティ10階 小会議室I+J (福岡市博多区博多駅中央街1-1)
内 容：九州大学ビジネス・スクールの概要と特別選抜入試について、修了生による座談会等
参加申込：参加ご希望の方は下記のお申込フォームよりお申し込みください
<https://qbs.kyushu-u.ac.jp/form-sys/>

※なお、当日に会場にお越しいただくことが難しい方は、オンラインでもご参加いただけます。
申込時に会場もしくはオンラインをお選びください。



(説明会ご案内ページ)

九州大学ビジネス・スクール[MBA課程]
2021年4月入学生(19期生)

特別選抜入試

変革をリードし、新たな事業価値の創造に挑戦する意欲を持つ学生の募集を重点的に行うため、特別選抜を実施します。

出願期間/2020年12月23日(水)~2021年1月5日(火)
(12月26日~1月3日は窓口受付なし)

試験期日/2021年1月24日(日)

募集人員/若干名

選抜方法/書類審査・口頭試問ほか

合格発表/2021年2月16日(火)

入学試験に関するお問い合わせ先

〒819-0395 福岡市西区元岡744 九州大学人文社会科学系事務部教務課(経済担当)

TEL▶092-802-6383

E-Mail▶jbc-qbs@jimu.kyushu-u.ac.jp

ホームページ▶<https://qbs.kyushu-u.ac.jp/>

QBSの先端的オンライン授業の実践事例



新型コロナウイルス感染拡大防止措置の一環として、現在九州大学ビジネス・スクール(QBS)は平日開講科目をすべてオンラインで実施しています。筆者・松永正樹(QBS「リーダーシップ論」及び「組織行動」准教授)が担当講師を務める授業では、この状況を奇貨ととらえ、最先端のオンライン教育手法を導入しました。

まず、受講生は事前に講義内容の解説動画をYouTubeで各自予習します。授業当日はZoomでリアルタイム授業を行います。事前の動画視聴で講義の概要は全員が押さえていますので授業時間は濃密なディスカッションが中心になります。加えて、授業後は復習のために学内システムで講義スライドのPDFが公開され、さらにslackという受講生と講師のみで構成されるクローズドなSNS上で引き続き議論が交わされます(5~8月に開講された「リーダーシップ論」では、3ヶ月間で3,000件以上の投稿が行われ、活発な意見交換がみられました)。

この「YouTubeによる事前学習→Zoomを用いたディスカッション中心のリアルタイム授業→slackでの授業後のフォローアップ→翌週の授業に向けたYouTubeでの事前学習→…」という円環的プロセスは世界的にも先進的な教育手法であり、多忙な受講生が各自のライフスタイルに合わせてつねに学び続けることを可能にしています。

松永 正樹(リーダーシップ論、組織行動)

QBSのハイブリッド講義について

QBSでは、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、2020年度の前期を全てZoomによる遠隔講義にしました。後期も全て遠隔講義にする選択肢もありましたが、4月に入学した18期生からは、同級生との人間関係を作るために対面授業にして欲しいとの声が強くなりました。そこで、平日の博多駅は遠隔を継続するものの、土曜日伊都キャンパスでの開講を対面と遠隔のハイブリッドで提供することにしました。土曜日の伊都キャンパス開講科目とは、私の「企業価値創造とM&A」及び、高田教授の「産学連携マネジメント」です。アジアからの交換留学生は全員日本には入国できませんでしたが、留学希望者の中で、遠隔でQBSの講義に参加を希望する学生5名が履修中です。結果的に、M&Aには対面学生9人、遠隔学生26人(QBS MBA21人、遠隔交換留学生5人)の合計35人が履修登録しました。遠隔学生が一人でもいれば対面学生は遠隔学生とコミュニケーションをとるため、PCやマイク付きのヘッドセットを持ってきてZoomに入る必要があります。これから対面参加者と遠隔参加者によるグループ・ディスカッションをどうやるか試行錯誤して見るともりです。

村藤 功(企業財務、企業価値創造とM&A)



「アジア・ビジネス戦略」担当の招へい外国人研究員 国立台湾師範大学Whuei-wen Lai先生からのメッセージ



Whuei-wen (Christine) Lai
National Taiwan Normal University

I want to say thank you to Dr. Mokudai for inviting me as a visiting professor at the QBS. I am going to lecture Asian Business Strategy this year. The roadmap of the class is as follows. First, through case-based discussions, this course will address the issues a firm considers when expanding from its home base into Asia. Our firm with Asian expansion can be either a Western or an Eastern firm, so culture difference should be addressed. The Asian expansion issues we are going to discuss include location choice, business model design, international capital budgeting, funding options, and the risk factors affecting the success of the expansion. The decision-making will be supported by both qualitative and quantitative analysis. Second, we will narrow down our discussion level to the alternative financial strategies firms can use to fund Asian expansion projects, including M&A, venture capital, leasing, or even leveraging Fintech innovation to grow and compete. Hopefully, all of us may open up new perspectives in this interdisciplinary and cross-cultural classroom. I am looking forward to seeing you.

着任のご挨拶



小城 武彦 教授

はじめまして。10月1日に着任しました小城武彦（おぎたけひこ）です。「コーポレート・ガバナンスと監査」、「マネジメント・コントロール」（来年度）を担当します。

私の苗字からお気づきかもしれません。祖父の代まで佐賀県に住んでおりました。私自身は関東生まれ、関東育ちなので、世代をまたがったUターンになります。

私は長らく企業経営に携わってきました。これまで上場企業3社、スタートアップ2社（うち1社は公的企業）で代表取締役を務めています。この経験を踏まえ、私の授業では皆さんが企業の現場で実際に使える「実践知」を提供するとともに、生々しい経営のリアリズムを伝授したいと考えています。

企業経営は、「総合格闘技」です。経営者は、会社の歴史、従業員・顧客・株主それぞれへの責任、そして地域社会への責任、これらを背負いながら、経済合理性を熟慮して意思決定をしなければなりません。当然のことながら、唯一の正解があるわけではありません。

このため、企業経営者には、「知」（理論、ロジック）と「軸」（経営観、当事者意識）の双方が必要となります。

「自分が社長だったらどうするか」

QBSでの学びを「総動員」しながら、経営課題と向き合う醍醐味をお伝えできればと思います。

皆さんとクラスでお会いできることを楽しみにしています。

<略歴>

東京大学法学部卒、プリンストン大学ウッドロー・ウィルソン大学院修了（国際関係論）、東京大学大学院経済学研究科修了（博士 経済学：専門 経営組織論）

通商産業省（現経済産業省）、ツタヤオンライン代表取締役社長、カルチュア・コンビニエンス・クラブ代表取締役常務、産業再生機構マネージング・ディレクター（カネボウ代表執行役社長として出向）、丸善（現丸善CHIホールディングス）代表取締役社長、日本人材機構代表取締役社長などを歴任。

<著書>

『衰退の法則：日本企業を蝕むサイレントキラーの正体』（東洋経済新報社、2017年）



QBS教員のブックレビュー

- ▶『領域を超える経営学 グローバル経営の本質を「知の系譜」で読み解く』
 琴坂将広 著、ダイヤモンド社、2014年2月発行、2,400円（税別）



国際経営を題材として、英国や欧州を中心とする最先端の経営学研究を知ることができる良書である。最短距離で理論的な系譜を理解できるような工夫が凝らされているのはもちろんであるが、加えて、注目すべきは第六章である。そこで筆者は、未来やあるべき姿について研究を踏まえながら広く言及している。これらの

著者の経験と力量が余すところなく発揮されていると言えよう。米国の経営学を相対化し、他国の経営学の最先端の研究も俯瞰するために必須の一冊である。

中本 龍市（組織マネジメント）

岩崎名誉教授の著書紹介

- ▶『幸せになれる「心の法則」』
 幻冬舎、2020年9月9日発行、900円（税別）



「人生の目的は、自己の進化向上によって幸せになることである」という観点に立って、本書の目的は、日々の生活において人が愛と心の豊かさを起点として考え、行動することによって幸せになることです。すなわち、幸せになるためには、「幸せになれるような生き方」をすることが非常に大切です。このために本書は因果律などの心の法則を知り、それを日常的な習慣として実践し、それと調和した生き方をすることが幸せになる王道であることを示しています。是非、ご一読をお勧めします！

岩崎 勇（九州大学名誉教授、大阪商業大学特任教授）

QAN便り



平素よりQANの運営におきましてご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、諸般の準備を整え、短期エグゼクティブ・プログラム修了生をお迎えすべく、10月より順次お声がけを開始します。また短期交換留学生の皆様も同様に、準備が整い次第、ご案内する予定です。良質なビジネスコミュニティの拡大は多くの関係者に直接的、間接的な恩恵をもたらすと考えています。

ところで、先日、九州大学人事企画課の依頼を受けて、九州大学の幹部職員候補生にリーダーシップ教育を実施する機会に恵まれました。自身の経験を基に書き下ろしたケース「一般社団法人QBSアラムナインネットワーク」を利用したケースディスカッション方式で、リーダーとは、リーダーシップとは、マネジ

メントとの違いは、そもそもリーダーシップを身につける事が出来るのか、可能ならどのように、との命題に対して議論を交わしてきました。ケースリーダーとしては経験不足ながら、なかなか盛り上がる事が出来ました。受講者の実務経験とリアルなケースが響き合った結果かもしれません。この研修が九州大学の将来を担う職員の皆様の一助となれば幸いです。

QAN会長 寺松 一寿(4期生/寺松商店)

Welcome to QBS !!

QBSでは本年度も後期に交換留学生を迎える事になりました。

今回、新型コロナウイルスの影響で留学生たちは来日する事が出来ず、Zoomを用いた遠隔授業にて我々と半年間学びを共にすることになります。

講義開始前の9月30日にZoomを使って歓迎会を開催し、中国語、英語でコミュニケーションが行われました。今回、中国の華中科技大学、東北财经大学、大連理工大学より5名の交換留学生がQBSのメンバーに加わります。留学生の中には「福岡でやる事リスト」を作成していた方もおり「来日できずに本当に残念」と皆さんおっしゃっていました。留学期間中は交換留学生1人につき1人のQBS学生サポーターがついており、講義のサポートや、来日した時と同じような素晴らしい交友関係が構築出来る様、サポートをしていきたいと思います。また、講義を通じ交換留学生の方はもちろん、我々の学びもより充実したものになる事を期待しております。

ポイド 澄子(18期生)



在校生紹介



中川 陽介さん(17期生)

所属 ▶ 楽天カード株式会社

私が QBS の門戸を叩いたのは、自分には「Back to Basics」が必要と思ったから。米国赴任中、ご活躍されている方々にお会いし感じたのは、みなさん個性豊かなのはもちろん、しかしその背景には尽く基本となる理論があり、それを基にした持論や信念をお持ちであることでした。そして、帰任の際に、そのように輝く人々を羨む自分への不満をぶつける場所を探してQBSに出会いました。

私は「経験は筋肉、理論は鎧、持論は盾や銃」と思っており、この3つが揃ってはじめてビジネスで戦える騎士になれる、と考えています。QBSは「Back to Basics」を体感できる理論の学び、それを持論に昇華できる先生や学友との作用、そして経験を後押しするネットワークの形成ができます。

学びは終わりなく続きますが、理論、持論、経験を三位一体として「さすがQBS生」と言っていただけよう周囲への貢献をしていきたいと思います。



尾崎 祐子さん(16期生)

所属 ▶ 学校法人福岡成蹊学園 福岡外語専門学校

私は日本語教師として現在の職場に入校しましたが、途中から経営に関わり始めたことで経営学に興味を持ちました。QBSへ入学したのは、「アジアで新たな事業価値を創造する国際的なビジネス・プロフェッショナルを育成する」というQBSのカリキュラム・ポリシーに惹かれたからです。アジアに特化した授業、アジアの一流ビジネス・スクールへのスタディーツアー(ICABE)があることが魅力的でした。実際に入学してみると、アジアビジネスに精通した教授陣が国内外から招集されており、ビジネス実務者・教育者として一流の方々から学ぶことが出来ました。ICABEには計3回参加し、内2回はリーダーとして指揮を執りました。現地学生とのアイデアバトルや現地企業の訪問調査が出来るICABEは、普通の海外出張にはない学びがあり、何度でも参加したい活動です。

私はもうすぐQBSを修了しますが、いつかQBSに貢献出来るアジアのビジネスリーダーとなれるよう、精進していきたいです。